

## 2. 全国主要地域の地盤沈下の状況（その1）

都道府県	地域	地盤沈下の状況											
		現在までに沈下 が認められた 地域の面積 (km <sup>2</sup> )	累計沈下 量の最大値 (cm) ( ) 測量年度	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	過去5年 間累計沈 下量の最大 値(cm) ( ) 測量年度	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	最近の年 間沈下量 の最大値 (cm) ( ) 測量年度又は 期間*	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	現在、沈下が生じている 地域の沈下面積 (km <sup>2</sup> )				
									1cm/年 以上	2cm/年 以上	3cm/年 以上	4cm/年 以上	
北海道	石狩平野	280	(S56-H14) 55	81-01 札幌市白石 区川下	(H8-H14) 10.0	81-01 札幌市白石 区川下	(H11-H14) 平均 2.5	73-06 札幌市白石 区米里条1丁目	9	1	-	-	
"	釧路平野		(M44-H5) 21	7606 釧路市 幣舞町	(H7-H13) 過去6年 1.4	K2 釧路市 星が浦南	(H10-H13) 平均 0.2	K2 釧路市 星が浦南					
"	十勝平野		(S53-H11) 20	78-03 帯広市 榑台 町3丁目	(S63-H10) 過去10年 1.9	77-04 帯広市 西22条北1丁目	(S63-H10) 平均 0.2	77-04 帯広市 西22条北1丁目					
"	勇払平野		(S30-H3) 15	7313 苫小牧市 字美沢	(S58-H3) 過去9年 4.0	7312 苫小牧市 字美沢	(S58-H3) 平均 0.5	7312 苫小牧市 字美沢					
青森	青森		(S33-H13) 56	交6052 青森市 中央1丁目	(H6-H13) 5.2	23C 青森市 安方1丁目	(H11-H13) 平均 1.6	23C 青森市 安方1丁目					
"	津軽平野		(S43-61) 25	交6112 五所川原市 岩木町			(S58-61) 平均 2.0	交6112 五所川原市 岩木町					
"	八戸	10	(S50-H14) 41	8 八戸市 柏崎2丁目	(H10-H14) 2.8	45 八戸市 吹上3丁目	(H14) 0.6	45 八戸市 吹上3丁目	-	-	-	-	
宮城	石巻	5	(S57-H14) 7	081-07-00 石巻市 魚町1丁目	(H10-H14) 2.2	081-11-00 石巻市 三河町	(H14) 0.8	081-13-00 石巻市 三河町	-	-	-	-	
"	気仙沼	5	(S50-H14) 22	10 気仙沼市 弁天町2丁目	(H10-H14) 4.4	1 気仙沼市 錦町2丁目	(H14) 0.7	1 気仙沼市 錦町2丁目	-	-	-	-	
"	古川	10	(S58-H14) 20	12 古川市 馬寄字河西	(H10-H14) 6.9	12 古川市 馬寄字河西	(H14) 1.0	12 古川市 馬寄字河西	-	-	-	-	
"	仙台平野	290	(S49-H14) 42	045-018 塩釜市北浜 4丁目	(H10-H14) 6.0	仙136 宮城野区 苦竹4丁目	(H14) 2.2	仙108 宮城野区 新田5丁目	45	-	-	-	
秋田	象潟・ 金浦	10	(S44-60) 57	6595 由利郡 金浦町赤石			(S60-) 1.8	16 由利郡 金浦町赤石					
山形	山形	63	(S49-H14) 41	15 山形市 大字服部	(H8-H14) 7.2	61 山形市 大字天神町	(H13-14) 平均 1.3	61 山形市 天神町	0	-	-	-	

\* 毎年測量が実施されていない場合は、測量は実施された期間の平均年間沈下量（測量成果は年度で表示する）

[ ] は平成5年釧路沖地震(平成5年1月15日)、平成6年北海道東方沖地震(釧路平野)(平成6年10月4日)による地盤変動も含まれている。

「現在、沈下が生じている地域の面積」は、当該年度の測量によって認められた沈下量1cm/年、2cm/年、.....以上の地域の面積であり、ア面積は四捨五入のうえで、1km<sup>2</sup>単位で表示している。従って、0km<sup>2</sup>とは、0.5km<sup>2</sup>未満であって、1点以上の水準点が当該沈下量に該当することを示している。

イ - は、当該沈下量に該当する水準点がないものを示している。

ウ / は当該年度に測量が実施されなかった地域を示している。

## 2. 全国主要地域の地盤沈下の状況（その1）

現行法による地下水採取規制地域			地盤沈下防止 等対策要綱 規制地域： 観測地域： 地方の規制 条 例： 要 綱 等：	直 接 被 害							間 接 被 害		地 域 地下水の 塩水化	都 道 府 県
工業用水法指 定地域の面積	ビル用水法指 定地域の面積	合 計 うち()はゼ ロメートル 地帯面積 (km <sup>2</sup> )		一般施設		公 共 施 設					洪水・ 高潮の 危険性 大	排 水 不 良		
				建築物 の破損 又は 脆弱化	井戸等 の 抜 け 上がり	港湾・ 海岸 施設の 沈 下	堤防・ 護岸等 の 沈 下	道路・ 橋梁等 の沈下 ・破損	農業用 水路の 沈下・ 破 損	埋設物 の 破 損				
													石狩平野	北海道
													釧路平野	"
													十勝平野	"
													勇払平野	"
													青 森	青森
													津軽平野	"
													八 戸	"
													石 巻	宮城
													気仙沼	宮城
													古 川	"
90(0)		90(0)											仙台平野	"
													象潟・ 金浦	秋田
													山 形	山形

被害について、  
 : 対策済み      : 一部対策が施されているものを含め、現在なお被害が認められるもの      : きわめて局部的に被害が認められるもの

## 2. 全国主要地域の地盤沈下の状況（その2）

都道府県	地域	地盤沈下の状況											
		現在までに沈下 が認められた 地域の面積 (km <sup>2</sup> )	セメント 地帯の 面積 (km <sup>2</sup> )	累計沈下量 の最大 値 (c m) ( ) 測量年度	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	過去5年 間累計沈 下量の最 大値 ( ) 測量年度	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	最近の年 間沈下量 の最大値 (cm) ( ) 測量年度又は 期間*	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	現在、沈下が生じている 地域の沈下面積 (km <sup>2</sup> )			
										1cm/年 以上	2cm/年 以上	3cm/年 以上	4cm/年 以上
山形	米沢	4		(S49-H14) 21	22 米沢市 門東町1丁目	(H10~14) 4.5	22 米沢市 門東町1丁目	(H14) 0.9	82 米沢市 金池7丁目	-	-	-	-
福島	福島盆地			(S29-60) 7	交2138 福島市 入江町	/	/	(S53-60) 平均 0.3	2140 福島市 瀬上町	/	/	/	/
"	原町	40		(S30-H8) 164	本4 原町市 米米沢	(H3-H8) 1.4	本4 原町市 米米沢	(H5-H8) 平均 0.5	本4 原町市 米米沢	/	/	/	/
"	いわき			(S28-59) 7	交4201 いわき市 平	/	/	(S59-H6) 平均 1.0	006-179 いわき市 錦町	/	/	/	/
茨城	関東平野	350		(S52-H14) 114	82 猿島郡 五霞町川妻	(H10-14) 10.2	9 古河市 三和	(H14) 3.1	9 古河市 三和	193	1	-	-
栃木	関東平野	261		(S52-H14) 74	51-09 下都賀郡 野木町潤島	(H10-14) 6.0	51-10 下都賀郡 野木町丸林	(H14) 1.6	51-03 芳賀郡野木 町中谷	22	-	-	-
群馬	関東平野	270		(S51-H14) 40	50-08 邑楽郡 明和町新里	(H9-H14) 4.6	5-07 邑楽郡 明和町梅原	(H14) 1.2	5-07 邑楽郡 明和町梅原	4	-	-	-
千葉	関東平野 南部	2,013	9	(S38-H14) 212	1-3 市川市 福栄	(H10-14) 9.6	NR-44 成田市 芦田	(H14) 2.8	YM-5 八街市 八街3	712	66	-	-
"	九十九里 平野	855	8	(S44-H14) 93	45 茂原市 南吉田	(H10-14) 11.6	CN-3 長生郡 長南町地引	(H14) 3.3	SN-10 山武町植草	676	389	7	-
埼玉	関東平野	1,650		(S36-H14) 177	11097 越谷市 弥栄町	(H9-H14) 11.9	56-30 鷲宮町 上内	(H14) 2.4	北3 北川辺町 伊賀袋	90	4	-	-
東京	関東平野	955	124	(T7-H14) 451	9832 江東区 南砂2丁目	(H10-14) 3.0	麻10 港区六本木 7丁目	(H14) 1.6	江42 江戸川区 臨海町2丁目	2	-	-	-
神奈川	関東平野 南部	215	1	(S35-H14) 139	22 川崎区 澄田2丁目	(H10-14) 4.8	T-49 横浜市 栄区金井町	(H14) 1.9	318 中区石川町 1丁目	11	-	-	-
"	県央・ 湘南	60		(S50-H14) 38	13 厚木市 旭町	(H10-14) 4.2	113 平塚市 片岡	(H14) 1.6	11 厚木市 岡田	2	-	-	-

\* 毎年測量が実施されていない場合は、測量は実施された期間の平均年間沈下量（測量成果は年度で表示する）

「現在、沈下が生じている地域の面積」は、当該年度の測量によって認められた沈下量1cm/年、2cm/年、.....以上の地域の面積であり、  
 ア 面積は四捨五入のうえで、1km<sup>2</sup>単位で表示している。従って、0km<sup>2</sup>とは、0.5km<sup>2</sup>未満であって、1点以上の水準点が当該沈下量に該当することを示している。  
 イ - は、当該沈下量に該当する水準点がないものを示している。  
 ウ / は当該年度に測量が実施されなかった地域を示している。

## 2 . 全国主要地域の地盤沈下の状況（その2）

現行法による地下水採取規制地域			地盤沈下防止 等対策要綱 規制地域： 観測地域： 地方の規制 条 例： 要 綱 等：	直 接 被 害							間 接 被 害		地 域 地下水の 塩水化	都 道 府 県
工業用水法指 定地域の面積	ビル用水法指 定地域の面積	合 計 うち()はゼ ロメートル 地帯面積 (km <sup>2</sup> )		一般施設		公 共 施 設					洪水・ 高潮の 危険性 大	排 水 不 良		
				建築物 の破損 又は 脆弱化	井戸等 の 抜 け 上 が り	港湾・ 海 岸 施設 の沈 下	堤防・ 護岸等 の 沈 下	道路・ 橋梁等 の沈下 ・破損	農業用 水路の 沈下・ 破 損	埋設物 の 破 損				
													米 沢	"
													福島盆地	福島
4 1 (0)		4 1 (0)											原 町	"
													いわき	"
													関東平野	茨城
													関東平野	栃木
													関東平野	群馬
3 3 1 (9)	5 4 1 (9)	5 5 6 (9)											関東平野 南部	千葉
													九十九里 平野	"
1 5 4 (0)	2 5 3 (0)	3 0 0 (0)											関東平野	埼玉
2 5 4 (124)	5 7 7 (124)	5 9 2 (124)											関東平野	東京
2 0		2 0											関東平野 南部	神奈川
													県央・ 湘南	"

被害について、  
 : 対策済み      : 一部対策が施されているものを含め、現在なお被害が認められるもの      : きわめて局部的に被害が認められるもの

## 2. 全国主要地域の地盤沈下の状況（その3）

都道府県	地域	地盤沈下の状況											
		現在までに沈下 が認められた 地域の面積 (km <sup>2</sup> )	セメント 地帯の 面積 (km <sup>2</sup> )	累計沈下 量の 最大値 (cm) ( )測量年度	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	過去5年 間累計沈 下量の最 大値 ( )測量年度	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	最近の年 間沈下量 の最大値 (cm) ( )測量年度又は 期間*	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	現在、沈下が生じている 地域の沈下面積 (km <sup>2</sup> )			
										1cm/年 以上	2cm/年 以上	3cm/年 以上	4cm/年 以上
新潟	新潟平野	805	208	(S32-H14) 50 新潟市 坂井輪 280	(H9-H14) 1-15 新潟市 浜松町 7.1	(H14) 2188 新潟市 太夫浜 1.6	(H14)	29	-	-	-		
"	長岡	56		(S50-H14) NA-41 長岡市 蓮瀧 22	(H9-H14) NA-58 長岡市 関原町 3.6	(H14) NA-48 長岡市 鷲巣町 0.5	(H14)	-	-	-	-		
"	高田平野	191		(S43-H14) NA-5 上越市 東中島 45	(H9-H14) KI-1 中頸城郡 清里村今鯉 4.8	(H14) KI-1 中頸城郡 清里村鯉 1.6	(H14)	1	-	-	-		
"	南魚沼	70		(S54-H14) M-25 南魚沼郡 六日町大字六日町 82	(H8-H14) MY-4 南魚沼郡 六日町大字六日町 14.2	(H14) MY-4 南魚沼郡 六日町大字六日町 2.0	(H14)	1	0	-	-		
"	柏崎	12		(S32-H14) No.68 柏崎市 元城町 19	(H8-H14) No.68 柏崎市 元城町 4.2	(H14) No.公-5 柏崎市 大久保 0.5	(H14)	-	-	-	-		
富山	富山・ 砺波平野			(S49-63) 公-21 新湊市 新片町 5	/	(S53-63) 平均 0.4	公-12 富山市 中沖	/	/	/	/		
石川	七尾	15		(S47-H14) 21 七尾市 府中町 19	(H9-H14) 40 七尾市 矢田新町 2.2	(H14) 21 七尾市 府中町 0.6	(H14)	-	-	-	-		
"	金沢平野	100		(S49-H14) 43008-014 河北郡 宇ノ気町大崎 50	(H9-H14) 43008-010 金沢市 近岡町 8.7	(H14) 43008-010 金沢市 近岡町 1.7	(H14)	10	-	-	-		
福井	福井平野	14		(S50-H12) 40 福井市 下荒井町 9	(H8-H12) 101 福井市 月見4丁目 1.3	(H12) 101 福井市 月見4丁目 0.3	(H12)	/	/	/	/		
山梨	甲府盆地	80		(S49-H14) No.2 中巨摩郡 玉穂町成島 16	(H10-H14) 90-1 田富町 山之神 2.1	(H14) 90-1 田富町 山之神 0.8	(H14)	-	-	-	-		
長野	諏訪	20		(S51-H14) No.60 諏訪市 四賀 53	(H10-H14) No.58 諏訪市 中州 7.1	(H14) No.64 諏訪市 四賀 3.1	(H14)	0	0	0	-		
静岡	沼津・ 三島	4		(S55-H14) キ-12 三島市 梅名 19	(H11-H14) 4キ-21 田方郡 伊豆長岡町南江間 4.8	(H11-H14) 平均 1.6	キ-21 田方郡 伊豆長岡町南江間	/	/	/	/		
愛知	豊橋平野		27	(S50-H13) 154 渥美郡田原 町田原晩田 6	(H7-H13) 61 渥美郡田原 町姫見台 2.0	(H12-H13) 61 渥美郡田原 町姫見台 0.6	(H12-H13)	/	/	/	/		

\* 毎年測量が実施されていない場合は、測量は実施された期間の平均年間沈下量（測量成果は年度で表示する）

「現在、沈下が生じている地域の面積」は、当該年度の測量によって認められた沈下量1cm/年、2cm/年、.....以上の地域の面積であり、ア面積は四捨五入のうえで、1km<sup>2</sup>単位で表示している。従って、0km<sup>2</sup>とは、0.5km<sup>2</sup>未満であって、1点以上の水準点が当該沈下量に該当することを示している。  
イ - は、当該沈下量に該当する水準点がないものを示している。  
ウ / は当該年度に測量が実施されなかった地域を示している。

## 2 . 全国主要地域の地盤沈下の状況（その3）

現行法による地下水採取規制地域			地盤沈下防止 等対策要綱 規制地域： 観測地域： 地方の規制 条 例： 要 綱 等：	直 接 被 害							間 接 被 害		地 下 水 の 塩 水 化	地 域	都道 府 県
工業用水法指 定地域の面積	ビル用水法指 定地域の面積	合 計 うち()はゼ ロメートル 地帯面積 (km <sup>2</sup> )		一般施設		公 共 施 設					洪水・ 高潮の 危険性 大	排 水 不 良			
				建築物 の破損 又は 脆弱化	井戸等 の 抜 け 上がり	港湾・ 海 岸 施設の 沈 下	堤防・ 護岸等 の 沈 下	道路・ 橋梁等 の沈下 ・破損	農業用 水路の 沈下・ 破 損	埋設物 の 破 損					
														新潟平野	新潟
														長 岡	"
														高田平野	新潟
														南 魚 沼	"
														柏 崎	"
														富山・ 砺波平野	富山
														七 尾	石川
														金沢平野	"
														福井平野	福井
														甲府盆地	山梨
														諏 訪	長野
														沼津・ 三島	静岡
														豊橋平野	愛知

被害について、  
 : 対策済み                      : 一部対策が施されているものを含め、現在なお被害が認められるもの                      : きわめて局部的に被害が認められるもの

## 2. 全国主要地域の地盤沈下の状況（その4）

都道府県	地域	地盤沈下の状況											
		現在までに沈下 が認められた 地域の面積 (km <sup>2</sup> )	セメント 地帯の 面積 (km <sup>2</sup> )	累計沈下 量の 最大値 (cm) ( ) 測量年度	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	過去5年 間累計沈 下量の最 大値 ( ) 測量年度	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	最近の年 間沈下量 の最大値 (cm) ( ) 測量年度又は 期間*	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	現在、沈下が生じている 地域の沈下面積 (km <sup>2</sup> )			
										1cm/年 以上	2cm/年 以上	3cm/年 以上	4cm/年 以上
愛知	岡崎平野	65	57	(S51-H14) 40	A200 幡豆郡吉良 町白浜新田	(H8-H14) 1.2	A394 岡崎市上青 野町新井	(H14) 0.5	A394 岡崎市上青 野町新井	-	-	-	-
"	濃尾平野	735	279	(S38-H14) 149	A3-4 海部郡十四 山村神戸新	(H9-H14) 5.0	C東船頭平 海部郡立田 村立田杵先	(H14) 1.5	下流NL14 海部郡立田 村福原	0	-	-	-
岐阜	濃尾平野	286	61	(S47-H14) 41	帆引 海津郡海津 町帆引新田	(H9-H14) 9.4	下流IL-20 海津郡海津 町安田新田	(H14) 1.9	下流IL-20 海津郡海津 町安田新田	38	-	-	-
三重	濃尾平野	120	55	(S36-H14) 158	C35-16 桑名郡長島 町白鷗	(H9-H14) 4.4	NL10 桑名郡長島 町下坂手	(H14) 0.9	平賀 桑名郡 多度町福永	-	-	-	-
京都	京都盆地			(S48-H14) 37	京都市No.25 京都市南区 上鳥羽 <sup>鴨</sup> 森	(H8-H13) 2.1	京都市No.3 向日市物集 女町長野	(H10-H14) 平均 0.1	京都市No.38 京都市 伏見区淀				
大阪	大阪平野	635	55	(S10-H13) 290	西-4 大阪市此花 区西島	(H9-H13) 3.3	西-61 大阪市港区 築港	(H11-H13) 平均 0.8	府-7 茨木市清水 2丁目				
兵庫	"	49	16	(S7-H13) [290]	A59 尼崎市 松町1丁目	(H8-H13) 6.3	D16 尼崎市 東海岸町	(H11-H13) 平均 1.0	D16 尼崎市 東海岸町				
"	豊岡盆地			(H元-14) 15	No.1 豊岡市 幸町	(H10-14) 4.9	NO.1 豊岡市 幸町	(H14) 0.8	豊1210 豊岡市 九日市上町	-	-	-	-
"	播磨平野			(S23-45) 7	432 加古川市 野口町			(S54-57) 平均 0.7	430 加古川市 米田町				
"	淡路島 南部			(S39-45) 5	028-054 三原郡 三原町			(S39-45) 平均 0.9	028-054 三原郡 三原町				
鳥取	鳥取平野	10		(S53-H11) 37	建 鳥取市 田園町4丁目	(H7-H11) 2.6	8 鳥取市 江津	(H9-H11) 平均 0.5	8 鳥取市 江津				
岡山	岡山平野			(S44-H4) 10	片岡宅井戸 岡山市 豊田	(S63-H5) 0.7	沈下計2 岡山市 西幸西	(H5) 0.1	沈下計2 岡山市 西幸西				
広島	広島平野	35	9	(S30-48) 20	958 広島市 南区			(S58-63) 平均 0.2	1667 広島市 東区愛宕町				

\* 毎年測量が実施されていない場合は、測量は実施された期間の平均年間沈下量（測量成果は年度で表示する）  
[ ] は平成7年阪神・淡路大震災（平成7年1月17日）による地盤変動も含まれている

「現在、沈下が生じている地域の面積」は、当該年度の測量によって認められた沈下量1cm/年、2cm/年、.....以上の地域の面積であり、  
ア 面積は四捨五入のうえで、1km<sup>2</sup>単位で表示している。従って、0km<sup>2</sup>とは、0.5km<sup>2</sup>未満であって、1点以上の水準点が当該沈下量に該当  
することを示している。

イ - は、当該沈下量に該当する水準点がないものを示している。

ウ / は当該年度に測量が実施されなかった地域を示している。

## 2 . 全国主要地域の地盤沈下の状況（その4）

現行法による地下水採取規制地域			地盤沈下防止 等対策要綱 規制地域： 観測地域： 地方の規制 条例： 要綱等：	直接被害							間接被害		地下水の 塩水化	地域	都道 府県
工業用水法指 定地域面積	ビル用水法指 定地域の面積	合 計 うち()はゼ ロメートル 地帯面積 (km <sup>2</sup> )		一般施設		公 共 施 設					洪水・ 高潮の 危険性 大	排 水 不 良			
				建築物 の破損 又は 脆弱化	井戸等 の 抜 け 上 が り	港湾・ 海 岸 施設 の沈 下	堤防・ 護岸等 の 沈 下	道路・ 橋梁等 の沈下・ 破損	農業用 水路の 沈下・ 破 損	埋設物 の 破 損					
														岡崎平野	"
4 5 8 (230)		4 5 9 (230)												濃尾平野	"
														濃尾平野	岐阜
3 4 (0)		3 4 (0)												濃尾平野	三重
														京都盆地	京都
4 3 2 (50)	2 0 3 (49)	4 9 6 (55)												大阪平野	大阪
4 9 (16)		4 9 (16)												大阪平野	兵庫
														豊岡盆地	"
														播磨平野	"
														淡路島 南部	"
														鳥取平野	鳥取
														岡山平野	岡山
														広島平野	広島

被害について、  
 : 対策済み                      : 一部対策が施されているものを含め、現在なお被害が認められるもの                      : きわめて局部的に被害が認められるもの



## 2. 全国主要地域の地盤沈下の状況（その5）

都道府県	地域	地盤沈下の状況											
		現在までに沈下 が認められた 地域の面積 (km <sup>2</sup> )	セメント 地帯の 面積 (km <sup>2</sup> )	累計沈下 量の 最大値 (cm) ( ) 測量年度	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	過去5年 間累計沈 下量の最 大値 ( ) 測量年度	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	最近の年 間沈下量 の最大値 (cm) ( ) 測量年度又は 期間*	左の水準点 番号(上段) とその位置 (下段)	現在、沈下が生じている 地域の沈下面積 (km <sup>2</sup> )			
										1cm/年 以上	2cm/年 以上	3cm/年 以上	4cm/年 以上
徳島	徳島平野			(S39-H46) 1 1	055-004 徳島市 論田町	/	/	(S54-H57) 平均 0.6	5074 徳島市 西須賀町	/	/	/	/
香川	讃岐平野 高松周辺			(S22-H5) 9	339 高松市 前田東町	(H7-H13) 0.3	個14 高松市 観光町	(H10-H13) 平均 0.1	No14 高松市 春日町	/	/	/	/
"	讃岐平野 坂出・丸亀周辺			(S22-H5) 7	354 坂出市 入船町	(H8-H14) 0.4	No501 坂出市 林田町	(H11-H14) 平均 0.1	No501 坂出市 林田町	-	-	-	-
高知	高知平野	2 5	1 0	(S48-H10) 2 1	7 高知市 丸池町	(H6-H10) 2.0	7 高知市 丸池町	(H12) 0.2	7 高知市 丸池町	/	/	/	/
福岡	筑後・ 佐賀平野	-	4 6	(S59-H14) 8 0	223 柳川市	(H9-H14) 4.4	47 高田町	(H14) 0.6	3354 大川市	-	-	-	-
佐賀	筑後・ 佐賀平野	3 2 6	2 0 7	(S32-H14) 1 2 3	3334 杵島郡 白石町横手	(H9-H14) 5.4	2007 杵島郡白石 町築切	(H14) 1.9	福5 福富町県営 第五干拓	2	-	-	-
長崎	島原半島 基部	1 5	6	(S52-H62) 1 9	D1 北高来郡 森山町諫早干拓地	/	/	(H4) 1.9	N0.9水準点 諫早市 諫早干拓地	/	/	/	/
熊本	熊本平野	2 5	1 0	(S44-H14) 3 3	熊本県BM 熊本市 沖新町	(H10-H14) 9.9	距離標1K000 熊本市 沖新町	(H14) 0.8	距離標2K100 熊本市 中原町	-	-	-	-
宮崎	宮崎平野			(S55-H14) 1 8	SE-10 宮崎郡佐土 原町下田島	(H9-H14) 3.0	SE-48 宮崎郡新富 町富田	(H14) 0.5	T-16 児島郡新富 町新田	-	-	-	-
計										1,847	461	7	-

\* 毎年測量が実施されていない場合は、測量は実施された期間の平均年間沈下量（測量成果は年度で表示する）

「現在、沈下が生じている地域の面積」は、当該年度の測量によって認められた沈下量1cm/年、2cm/年、.....以上の地域の面積であり、面積は四捨五入のうえで、1km<sup>2</sup>単位で表示している。従って、0km<sup>2</sup>とは、0.5km<sup>2</sup>未満であって、1点以上の水準点が当該沈下量に該当することを示している。

イ - は、当該沈下量に該当する水準点がないものを示している。

ウ / は当該年度に測量が実施されなかった地域を示している。

## 2. 全国主要地域の地盤沈下の状況（その5）

現行法による地下水採取規制地域			地盤沈下防止 等対策要綱 規制地域： 観測地域： 地方の規制 条例： 要綱等：	直接被害							間接被害		地下水の 塩水化	地域	都道 府県
工業用水法指 定地域の面積	ビル用水法指 定地域の面積	合計 うち()はゼ ロメートル 地帯面積 (km <sup>2</sup> )		一般施設		公共施設					洪水・ 高潮の 危険性 大	排 水 不 良			
				建築物 の破損 又は 脆弱化	井戸等 の 抜 け 上 が り	港湾・ 海 岸 施設 の 沈 下	堤防・ 護岸等 の 沈 下	道路・ 橋梁等 の 沈下・ 破損	農業用 水路の 沈下・ 破損	埋設物 の 破 損					
														徳島平野	徳島
														讃岐平野 高松周辺	香川
														讃岐平野 坂出・丸亀	"
														高知平野	高知
														筑後・ 佐賀平野	福岡
														筑後・ 佐賀平野	佐賀
														島原半島 基部	長崎
														熊本平野	熊本
														宮崎平野	宮崎
														計	

被害について、

：対策済み      ：一部対策が施されているものを含め、現在なお被害が認められるもの      ：きわめて局部的に被害が認められるもの

（備考）

- 1 沈下量等の基礎資料は国土交通省省国土地理院による一等水準路線の検測、地方公共団体による地盤沈下監視測定のための水準測量（環境省補助事業）等による。
- 2 「地盤沈下が認められた地域の面積」は、現在までに調査の結果、地盤沈下が認められた地域の総面積を示している。「ゼロメートル地帯面積」は、平均朔望満潮位以下の地域の面積を示している。空欄は面積を算定していないことを示している。
- 3 毎年測量が実施されていない場合は、測量が実施された期間の年平均沈下量で表示している。